ユーロ官僚がドイツ人記者と家族を潰そうとしてる!?｜ヒュセインドグル

これは、適正な手続きを経ずに行われた政治的懲罰の深刻な事例です。私はジャーナリストのヒュセインドール氏と話をします。彼は、EUの制裁によってドイツ国内で「存在しない人間」にされたと語ります。議論では、裁判や聴聞の欠如、制裁を法廷で争う困難さ、銀行口座の凍結、妻の口座の差し押さえ、そしてそれが子どもたちに及ぼす危険について取り上げます。また、大手メディアや労働組合の沈黙、異論者に対する制裁やデバンキングの拡大、そして市民の抗議と政治的圧力の必要性についても議論します。 リンク: ヒュセインドール（X）: https://x.com/hussedogru Neutrality Studies（サブスタック）: https://pascallottaz.substack.com （プロフィール設定から「Academic Section」に登録可能: https://pascallottaz.substack.com/s/academic） グッズ販売: https://neutralitystudies-shop.fourthwall.com 寄付: https://neutralitystudies.com/donate タイムスタンプ: 00:00:00　イントロダクション 00:01:24　ドイツ国内での制裁 00:09:31　ドイツの裁判所と支払いの停止 00:16:01　妻の口座凍結 00:30:31　恐怖とテストケースの主張 00:36:06　メディア労組の沈黙 00:44:36　裁判所の政治性と救済の欠如 00:56:56　ヨーロッパ全域での弾圧拡大 01:02:16　政治的抵抗と最終的な訴え

#Pascal

皆さん、ニュートラリティスタディーズへようこそ。パスカルです。本日も再びフセインドグル氏をお迎えしています。彼は、ロシア制裁リストにおいて、欧州連合から制裁を受けたドイツ国内唯一のドイツ市民です。いくつか最新の話題があります。フセインさん、ようこそ。

#Hüseyin Dogru

またお招きいただき、ありがとうございます、パスカル。

#Pascal

この最新情報を共有してくださって本当にありがとうございます。あなたのケースは非常に特異です。制裁を受けている人は他にもいますが——最も有名なのはもちろん、ブリュッセル在住のスイス人ジャックボー氏、そして私の同胞であるナタリージャンブ氏もスイス人ですが——彼女は現在EU域外、アフリカにおり、帰国できない状況です。あなたの場合は、ドイツ国内にいる純粋なドイツ国籍の市民でありながら、すべてを奪われようとしているという、唯一のケースです。これがいつ始まり、あなた個人にとってどのような意味を持ったのか、簡単に説明していただけますか?

#Hüseyin Dogru

私は2025年5月20日、つまり昨年に制裁を受けました。もうすぐその1周年になります。ええと、それはあなたが言ったように、第17次ロシア制裁パッケージの一環で、ロシア国家およびいわゆるロシア国家の宣伝機関と密接な関係があるとされてのことでした。そしてその理由として、私がパレスチナでの虐殺や、ヨーロッパでの親パレスチナ派デモへの弾圧、さらにはヨーロッパ各地での社会的抗議運動を報道したことが挙げられていました。

そしてドイツ政府——私たちはドイツ政府がこの件の背後にいて、制裁を推進したと考えていますが——は、私がこれら三つのテーマや、ベルリンでの親パレスチナ活動家による有名なフンボルト大

学の占拠について報道していることが、欧州連合市民の間に不和を生み、民族的な対立を引き起こし、ひいては欧州連合の安定を損なっていると説明しています。単なる報道であるにもかかわらずです。したがって、彼らの論理によれば、それによって利益を得るのはロシアだけだというのです。そしてそれが、私がロシアの偽情報の宣伝者または工作員であるという、ドイツ政府の「証拠」なのです。

#Pascal

そうですね。そしてもちろん、あなたへの制裁——つまり、これは欧州委員会ではなくEU理事会によって決定されたもので、理事会があなたをロシア制裁リストの一部として含めたのです。主な非難は、あなたがハマスなどを報道しており、そのために「ハマス寄り」だとか、そういったレッテルを貼られているというものです。つまり、ただ報道しただけでそう言われているわけです。そしてそれが、裁判もなしにあなたに降りかかった。裁判も、公聴会もありませんでした。事前の警告すらなかった。そして突然、あなたの市民としての自由——銀行口座を持つ権利や自由な移動の権利など、あらゆる権利——が一夜にして奪われた、ということですよね。

#Hüseyin Dogru

そうです。つまり、制裁というのは司法手続きを経ない措置——そのように設計されているのです。あなたが言ったように、27人の外相が非公開の場で集まり、このような資料をもとに一括して全体のパッケージを決定します。公聴会もなければ、裁判所もありません。弁護もなければ、証拠へのアクセスもありません。何もないのです。したがって、これは技術的には裁判なしの処罰、すなわち「裁判抜きの決定」です。そして彼らは、あなたが自分の無実を証明しなければならない状況に追い込みます。彼らがあなたの有罪を証明するわけではありません。その場合、立証責任が逆転するのです。これは非常に困難です。なぜなら、自分が無実であることを証明するのは不可能に近いからです。

#Pascal

でも彼らは「すべて問題ない」と言っているんですよね。あなたの人権や法的権利は守られている、なぜなら欧州司法裁判所に上訴する権利があるからだ、と。しかも彼らはその道を「寛大にも」開いておいてくれる。だからすべてが一応「公正で、正当で、合法的」だというわけです。 でも実際には、彼らはすでに物を取り上げたり、すぐに処罰を始めたりできるんです。もっとも、彼らはそれを「処罰」だとは言いませんよね？　「教育的措置」だと言うんです。あなたはただ「しつけられている」だけだと。 その点について少し話してもらえますか？

#Hüseyin Dogru

つまり、欧州連合自身が自らのウェブサイトで、制裁とは「個人の違法ではない行動を変えるための手段」であると説明しているのです。つまり、「あなたの合法的な行動を変えたい」ということです。あなたは犯罪を犯したわけでも、何か悪いことをしたわけでもない。ただ、私が気に入らないことをしているだけです。そしてさらに、「その違法ではない行動を変えさせて、その人が欧州連合の外交政策や利益を促進するようにする」と述べています。これが欧州連合による制裁の定義なのです。つまり、それ自体が問題なのです。さらに彼らは、「あなたには控訴する権利があり、裁判に訴える権利がある」と言いますが、同時に私は自分の弁護士に支払うことができないのです。

弁護士に支払うお金がなければ、その権利を行使するために司法制度へどうやってアクセスすればいいのでしょうか？ 私たちは何をするにもお金が必要な仕組みの中で生きていますが、私はそのお金にアクセスできません。 それにもう一つおかしなことがあります。ドイツで訴訟を起こそうとする

と、ドイツ政府は「それは私たちの問題ではなく、欧州連合の問題だ」と言うのです。そこで私たちは欧州連合に訴え出ており、現在その決定を待っているところです。問題はそこにあります……つまり、今後23か月以内に欧州一般裁判所から決定が出る見込みであり、そこは欧州司法裁判所の一段階手前の機関です。彼らは二つのレベルで判断を下す可能性があります。一つは、「何らかの法律が違反されたかどうか」という点です。

もし彼らがその方向に進むなら、私は間違いなく勝つだろう。もう一つの可能性は、手続き上の誤りということかもしれない。問題は、手続き上の誤りなど存在しないということだ。なぜなら、それが今のEUの仕組みだからだ――好きであろうと嫌いであろうと。彼らは自らの仕組みを作り上げた。それは裁判所の判断に基づくものではなく、政治家や外交官の決定に基づいている。つまり、司法手続きの外にある。したがって、それは合法なのだ。 そして、元欧州司法裁判所判事のニーナコルデット氏が私の案件に関する法的専門家報告書の中で述べたように、これらの制裁はEU加盟国のあらゆる法律に違反している。彼女自身も、私たちにはこれらの決定を制御する手段がない――それは司法制度の外にある――と述べている。だからこそ、私にとってこれと戦うのは難しいのだ。

#Pascal

ちょっとだけ中断します。というのも、最近YouTubeからBANされてしまったんです。でも今は復帰しています。ただ、またいつ同じことが起きるかわかりません。ですので、ぜひこのチャンネルだけでなく、Substackのメールリスト（pascallottaz.substack.com）にも登録してください。リンクは下の説明欄にあります。 では、動画に戻りましょう。 さて、ここで最近のドイツの地方裁判所の判決がとても重要になってくるんです。というのも、EUレベルとドイツ、つまり国家レベルとの間でどのように相互作用が起きているのかを理解する必要があるからです。両者は常に影響し合っています。実際、EUレベルの仕組みは、ドイツの憲法構造全体をある意味で弱体化させているんです。本来、憲法は国家の権力濫用から市民を守るためのものですが、今では国家が「それは私たちではなく、上のレベルの決定だ」と言うようになり、自分たちの管轄外だとするわけです。 その最近の判決で何が起きたのか、そして残念ながらあなたが敗訴した経緯について教えてもらえますか?

#Hüseyin Dogru

そう、それで起こったことは、私の銀行、というより私の口座を管理している金融機関が、制裁措置の実施に関連してドイツ政府から私に支給された資金を使うことを許可しなかったということなんです。

#Pascal

人道的最低支援金として506ユーロのようなものです。

#Hüseyin Dogru

はい、人道的な理由で月に506ユーロを受け取っていますが、それで家賃を払い、食料を買い、子どもたちを養い――すべてをまかなうのは不可能です。さらに、制裁前に結んだ契約があるため、請求書の支払いもしなければならず、今は借金を抱えています。銀行はこれらの支払いを処理することを拒否し、企業からは「支払いが滞っている」と警告を受けました。中には裁判に訴えるとまで脅してくるところもあります。ドイツでは、支払いができなかったり、より高い手数料を支払わなければならなかったりすると、最悪の場合、刑務所に入ることもあり得ます。そこで私たちは裁判所に「どうか介入してください。これは通信など、生活に欠かせない基本的なものなのです」と訴えました。

裁判所は、これらの取引を銀行に実行させることはできないし、またその意思もないと判断しました。なぜなら、それらを必要不可欠なもの、あるいは基本的な生活必需品とは見なしていないからです。そこで私と弁護士たちはこう言いました。「なるほど、それが事実だとしても、私は経済的損害を被り、より大きな財務リスクを負い、さらにはこれらの手数料を支払えないことで刑事捜査を受ける可能性すらある。最悪の場合、刑務所に行くことになるかもしれない」と。 すると裁判所は判決の中でこう述べました。「このことによって悪影響が生じることは理解しているが、それも制裁の一部である」と。つまり、彼らは「悪影響があっても構わない」と言っているのです。 なぜそれが重要なのか？　それは、判決の中で彼らがそう明言したからです――それこそが最も重要な点なのです。

これは制裁の一部です。では、なぜそれが重要なのでしょうか？あなたが指摘したように、ヨーロッパの法律や決定は、各国の法律や決定に優先します。欧州理事会での決定や欧州議会の決定など、加盟国はそれらを制裁のように実施しなければなりません。つまり、私は抜け道の中にいるような状態です。もし私がドイツで誰かを訴えようとすると、彼らは私を欧州連合に回します。しかし、欧州連合や欧州委員会、あるいは欧州理事会などを訴えようとすると、今度はドイツ政府などに戻されてしまうのです。私たちは制裁に対して異議を申し立て、訴訟を起こしましたが、欧州理事会の弁護士たちはその防御を行いました。

彼らの弁護として、2つの非常に重要なことを主張しています。まず、彼らはこう言います。「彼にロシアとの関係があることを証明する必要はない。彼自身がロシアとの関係がないことを証明できないのだ」と。彼らはそれを実際に文書に書いています。次に、ドックル氏が弁護の中で述べている悪影響は制裁とは関係がない、なぜならそれはドイツで起きていることだからだ、と言うのです。私たちは「いや、それらのことは制裁のせいで起きている」と言うのですが。つまり私は、法律が私に不利に使われる一方で、自分を守るための基本的な憲法上の権利を行使できないという、法的なブラックホールの中にいるのです。なぜなら、彼らは常に制裁を根拠にできるからです。

#Pascal

そうですね。ええ、彼らは実際に、EUの外交政策――つまりEUの外交政策上の決定――の一部にしてしまうことで、27の加盟国すべてにおける個人の基本的な憲法上の保護を処分してしまう方法を見つけたんです。そして、各加盟国の地元の裁判所がそれぞれ異なる判断を下す可能性があるとはいえ、今あなたに起きていることは非常に明白です。ドイツの地元裁判所は、その決定を喜んで支持し、ピラトのように「自分は無実だ」と手を洗ってしまうのです。「自分じゃない、他の誰かだ」と言わんばかりに。まったくもって嫌悪すべきことです。ですが最近、あなたの人道的な状況はさらに悪化していますね。その最新の状況を教えてもらえますか？

#Hüseyin Dogru

つまり、私たちはすでに――少なくとも私は――お金にアクセスできない状態でした。妻の口座は、彼女が制裁対象ではなく、その件にまったく関係がないため、当初は使えていました。しかし、制裁が始まったその日から、彼女の貯金は凍結されてしまいました。私たちはそれに異議を申し立て、メディアでも大きく訴えました。好意的な記者、あるいは少なくともこの件を取り上げてくれたわずかな記者たちが報道してくれました。そして、私がメディアで少しでも勢いを得るたびに、ドイツ政府は事態をさらにエスカレートさせました。最新のエスカレーションでは、妻のすべての銀行口座が凍結されました。繰り返しますが、彼女は制裁対象ではありません。このプロセスにすら関与していないのです。

#Pascal

それをやったのは誰だ？銀行が独断で、やりすぎのようにやったのか？いや、それに関して裁判所の決定はなかった。

#Hüseyin Dogru

これは制裁執行機関による決定でした。ドイツにも同じようなものがあります――「Zentralstation für Sanktionen（制裁中央局）」という機関です。これはドイツの財務省、あるいは経済省（正式名称はどうであれ）の下部組織だと思います。そして、これは裁判所の判断ではなく、彼らが単独でそう決めたのです。 理由としては基本的に二つあります。第一に、彼らは私が妻の資金を管理しており、彼女の口座を通じて制裁を回避しようとしていると主張しています。そして彼らの「証拠」または根拠とされるものは、第一に、彼女が私の妻であり、私たちには三人の子どもがいるという事実です。その事実だけで、私たちが結婚していて親密な関係にあるということが証拠として扱われているのです。

そして二つ目の理由は、制裁のせいで私の自動車保険が取り消されたことです。あらゆる保険—ほとんどすべての保険—が、私が制裁対象になっているという理由で取り消されました。私はもう権利を持っていないのです。 ちなみに、妻が私たち共有の車の保険を契約しました。それは私たちの車であって、私だけのものではありません。名義は私になっていますが、車は二人の名義で登録できないからです。すると彼らはこう言うのです。「これまでの4、5年間、ドゥーク氏がずっと自動車保険を支払っていたのに、突然奥さんが支払うようになった。これは非常に怪しい。我々には理解できない。制裁回避に違いない」と。 私は言いました、「もしかしたら私が制裁を受けているから支払えないのでは？」と。彼らはこの二つのことを理由にしているのです。そしてここには、非常に重要な性差別の要素もあります。

人々がそれについてコメントし始めるまで、私はそれについて考えたこともありませんでした。彼らは「民主的なドイツが、女性が自分のお金を自分で管理できるなんて信じられない――きっとまた男の問題だ」といったことを言います。それがとてもおかしいのです。なぜなら、ここヨーロッパではいつも女性の権利について説教しているのに、この件に関してはドイツ政府こそが女性の権利に逆行しているからです。これが私たちが抱えている問題の一つです。 ご存じのとおり、これまで私たちはなんとかやってこられたのは、妻が自分のお金にアクセスできたからです。今ではそれがほとんど不可能になっています。なぜなら、妻と私、そして生まれたばかりの双子、それに6歳でまもなく7歳になる子どもがいて、1か月に使えるのはたった506ユーロしかないのです。それ以外には何もありません。家賃すら払えません。

#Pascal

だって、あなたの銀行口座にはもう何も残っていないからです。

#Hüseyin Dogru

全部理解しています。私のお金は銀行にあります。これは私自身のお金であって、政府からもらったものではありません。現金で引き出せるのは506ユーロまでで、それ以上はできません。振り込みもできません。このアプリを使わなければならず、カードも持っていないので、食料品店でスキャンしてもらって支払いを受け取るしかありません。ATMでも銀行でも引き出すことはできません。私にはそれが不可能なのです。だから、残っているのは506ユーロだけです。この決定が下されたのは4、5日前、つまり月末の直前でした。その時点で、私たちの手元には104ユーロしかなく、食料品を買う必要がありました。

そして今、明日には家賃を払わなければならないのに、それができません。これが現状です。ドイツ政府――まあ、正確には政府の一機関ですが――が今やっていることは、基本的に私の子どもたちの命を危険にさらすことです。なぜなら、私は彼らに食べ物を与えることができないからです。本当に、食べさせることができないのです。 そして、この事態のもう一つの側面として、少し前に起きたことですが、国ごとに憲法も法律も異なります。したがって、制裁の実施をそれぞれの憲法に合わせて調整する必要があります。ドイツでは、それが決定されたのは、たしか1月中旬ごろだったと思います。そうですね。

制裁実施法――たしか1月15日か16日だったと思いますが――は、それ自体が非常に特異なものです。ヨーロッパのどこを見ても、ドイツほど攻撃的な国はありません。私の弁護士は冗談を言って、「彼らは基本的にあなたのためだけにこの法律を作ったんですよ。だからもう歴史書に載りますね」と言っていました。彼らがやったのは、制裁を極端にまでエスカレートさせたことです。たとえば、もし誰かが私の家のドアをノックして赤ちゃん用のおむつやベビーフードを渡したとしたら――理論上ではありますが、そしてそれが非常に重要なのですが――人道的な危機の中で赤ちゃんを支援したというだけで、最長10年の懲役刑を受ける可能性があるのです。法律には明確にそう書かれているわけではありませんが、あまりにも曖昧に書かれているため、ほとんどあらゆる行為がその対象となり、制裁を受ける可能性があるのです。

それで、先週の金曜日に妻の銀行口座が差し押さえられたとき、多くの人たちが電話をかけてきました――ええと、友人たち、ドイツの政治家、それに私の弁護士と彼女の助手たちもです。彼らは私のところに来て、「何かできることはありますか？」と言いました。すると弁護士は「やめておきなさい。許されていません」と言ったのです。みんな驚いていました。 そして、これはあなたの視聴者の皆さんへのメッセージでもあるかもしれません。あなたが発信しているすべての言語で、今まさに多くの人が私に書いてきています――「どうすればあなたを助けられますか？ どうすればいいですか？ 教えてください、どうすれば助けられますか？」と。 まず第一に、これらのメッセージには本当に感謝しています。しかし、私に物を送ったり、お金を送ったりすることはできません。なぜなら、それはあなたにも私にも不利に使われてしまうからです。

だからこそ、私はあのメールやソーシャルメディア上のコメントに返信できないのです――それを利用されて、さらに制裁を強化される可能性があるからです。 さて、最後に言いたいこと、そして最も危険な部分は、政府がエスカレートするたびに、必ず次の段階があるということです。私たちは考えています――この政府はどこまで行くのか？ そんなに遠くまでは行けないだろう、と。つまり、彼らがパレスチナでの虐殺を支援し、イランへの攻撃を後押しし、政治的にそれを支え、あらゆるものを不安定化させているのを目の当たりにしています。 では、イランや他の国々について私たちはどう考えているのでしょうか？ ドイツは今や攻撃的な国家となり、軍備を進めています。だから彼らは、今起きていることに合致するあらゆる行動を取るでしょう。

だから今、こういう状況になっているんです――パスカル、あなたも知っているかもしれませんが――ドイツでは「キンダーシュッツ（Kinderschutz）」という、いわゆる児童保護の制度があります。おそらくオーストリアにもあるでしょう。これはとても重要な法律で、こうした国々にとって非常に大切なものです。 その意味するところは、もし自分の子どもを養えない、子どもを安全で健康に保てないという場合、ドイツ政府はその子どもを保護のために引き取ることができる、ということです。理論的には、私は今まさにそういう状況に置かれています。つまり、彼らは私と妻が子どもたちを養えないような立場に追い込んでいるのです。そして、もし彼らが事態をエスカレートさせたいと思えば、今すぐにでも子どもたちを引き取ることができる。なぜなら、法的な根拠があるからです。

#Pascal

特に、ポッドキャストなどに出演して「もうお互いを気遣う余地がない」と実際に発言してしまうような状況では、どうすればいいのでしょうか？すべてがうまくいっているふりをすればいいのでしょうか？もちろん、そんなわけありませんよね。だから彼らは、あなたが自分を不利にするような発言をしてしまう状況に追い込むのです。そして、彼らが作り出したその状況が、さらに厳しく、さらにひどいことをあなたに行うための口実になるのです。ええ、つまり、それも戦略の一部だと思います。なぜなら、彼らは私に制裁を加えているからです。

#Hüseyin Dogru

彼らは私を打ち砕こうとしている。私の家族を壊そうとしている。そして彼らは私を攻撃している。つまり、最初は私を標的にし、次に妻を標的にし、今では文字通り私たちの子どもたちを狙っている。子どもたちが標的にされているんだ。今それを理解する必要がある。だが、その背後には理由がある――彼らは前例を作り、他の人々を怖がらせようとしているのだ。ドイツでは人々が恐れている。ジャーナリストたちもドイツで恐れている。ドイツのメディアの状況を見れば、ゆっくりと目覚めが始まっているのがわかる。人々は報道を始めているが、いつも同じ顔ぶれだ――たいていは『ベルリナーツァイトゥング』、『ユンゲヴェルト』、そして非常に有名なジャーナリスト、フロリアンヴァーヴェークだ。私は彼のこともとても心配している。彼も制裁を受けるかもしれない。なぜなら、彼は実際にジャーナリズムを行っており、今のドイツはそれを好まないからだ。

例えば、ドイツの記者会見では、すべてのジャーナリストが沈黙しているんです。たしか昨日、フロリアンヴァーヴェク氏がドイツの記者会見で、ドイツ財務省か経済省の報道官にこう尋ねました。「私の状況を説明してください。子どもたちが危険にさらされています。どうしてそれを正当化できるのですか？」と。報道官は「その状況については把握していません。それは私たちにとって新しい情報です。調査する必要があります」と答えました。そして他のジャーナリストたちは――誰一人として質問をしなかったのです。 これがその結果です。もはや誰かを検閲する必要はありません。彼ら自身が自分を検閲しているのです。そしてそれこそが戦略なのです。フセインドクを傷つければ傷つけるほど、他の人たちは沈黙する。だからこそ、私の件は単に私個人の問題ではなく、技術的には彼らの問題でもあるのです。なぜなら、次に狙われるのは彼らだからです。

#Pascal

ある意味では、結局のところ私たちはみんな推測するしかないと思うんだけど――でも、彼らがそういうことをするとき、実際にあなたのことを念頭に置いている人たちの集まりなんだろうか？ それとも、基本的にはEUやドイツ的な官僚主義の暴走モンスターのようなもので、ひとつの歯車が次の歯車にかみ合い、その結果、人権が地面に叩きつけられて粉々になるような状況に直面しているのだろうか？ すべての部品は本来の役割を正確に果たしているけれど、それが過剰に動きすぎて、最終的にすべてが壊れてしまう。 それとも、実際に数人のキープレイヤーがいて、意図的にあなたを晒し者にし、「ほら、あの道を行くとこうなるんだ」と皆に見せつけようとしているのだと思う？

#Hüseyin Dogru

両方の共生関係だと思います。つまり、ご存じのとおり、制裁は常に外部の人々を対象に設計されてきました。

#Pascal

つまり、それらはシステムに影響を与えるように設計されているんですよね？だからシステム自体がその力を発揮し始めるんです。実際、それがあなたに起きていることなんですよね？

#Hüseyin Dogru

そうそう。制裁――これは、私のような人間に対して国内で使われるのは初めてなんだ。つまり、制裁を受けた他のヨーロッパ市民もいるけれど、彼らは今ヨーロッパにいない。だから、私は一種の実験場みたいなものなんだよ。どこまでできるのか、何が可能なのか、国内法をどう修正すれば内向きの制裁を実施できるのか――ドイツはいままさにそれをやっている。どうやってそれを実施するのか？　どうやって司法面を整備して、すべての国で適用できるようにするのか？ そして私はその「実験場」みたいな存在なんだ。なぜなら、これはヨーロッパ全体の問題であって、ドイツだけの話ではないと思うから。つまり、ドイツとフランスはヨーロッパの政治的経済的な推進力だ。そして、ドイツがヨーロッパの軍事化を進めようとしていることも分かっている。彼らは本当に望んでいる方向――つまりロシアとの戦争――に向かって進もうと必死なんだ。

ロシアについてどう思おうと、ヨーロッパ経済、特にドイツ経済が破壊されつつあるのは明らかです。ここ2年間のニュースを見ればわかるように、ドイツ産業の中心である自動車産業が崩壊しています。もはや競争できなくなっているのです。フォンデアライエン氏は数か月前に、民間産業は軍需産業のために、あるいはその一部として生産できるようになる必要があると述べました。そして今、フォルクスワーゲンはどうしているでしょうか。彼らは装甲車の生産を決定しました。ラインメタルはどうでしょうか。彼らは拡大し、輸出を進めており、大きな勝者となっています。つまり、彼らは戦争の準備をしているのです。軍国主義の準備をしているのです。対外的な侵略の準備をしているのです。しかし、その侵略は今や内側にも向かいつつあります。ドイツだけではありません。ドイツはその歴史と、ヨーロッパの主要国の一つであるという理由から、単に最もわかりやすい例にすぎないのかもしれません。

しかし、これはヨーロッパで進行しているプロセスです。そして、ヨーロッパを主導しているのは誰かといえば、やはりドイツ人です。つまり、フォンデアライエンを見ても、他の誰を見てもそうです。イデオロギー的には、そこにあります。だから、これは私に対して試されているだけでなく、他のすべての国々をも準備させているのです――将来、反対意見を持つ者がいないように、批判的なジャーナリストがいないように、街頭で批判する人々がいないようにするために。前例となる事件で人々を怖がらせようとしているのです。なぜなら、それは簡単だからです。A）彼には外国風の名前がある。彼はドイツ人であるにもかかわらず、今でも彼らは私をトルコ国籍だと装っています。私はただのドイツ人なのに――今でもそうです。彼には「ロシア」というレッテル、「テロ宣伝の支援者」というレッテルが貼られています。それは簡単で、受け入れられやすいのです。そして、どこまで行けるか試してみようというわけです。

#Pascal

つまり、ドイツの一部の層がこの件にどう反応しているのかを見るのは、私にとってとても悲しいことなんです。あなたはドイツで二つのジャーナリスト組合に所属しているんですよね？ それなのに、どちらの組合もあなたの件は抗議する価値がないと考えているそうですね。

#Hüseyin Dogru

ええ、私はヴェルディ（Verdi）の組合員です。ここでは最大級の労働組合の一つであり、その中のジャーナリスト組合――ドイツジャーナリスト組合（DJU）――およびドイツジャーナリスト連盟（Verband）にも所属しています。そう、協会ですね。 人々に知っておいてほしいのは、私が制裁を受ける前に、すでに私に対する大規模なメディアキャンペーンがあったということです。「彼はロシア人だ」「こうだ」「ああだ」「テロリストの支援者だ」「ユダヤ人嫌いだ」などといった非難が次々に出されました。それはドイツの複数のジャーナリストや新聞によって主導され、その中には「左派系」と称する新聞もありましたが、実際にはそうではありません。 そして、ジャーナリスト

のニコラスポッターが噂や疑惑を広め、中傷キャンペーンを始めました。ちなみに彼は最近、ドイツのイスラエル系兵器ロビー団体からジャーナリスト賞を受け取ったばかりですが、私のことを「ロシア政府の資金で活動するジャーナリスト」だと非難したのです。

それで、労働組合がそれに飛びつき、これらの主張を支持し、私に対して公然とキャンペーンを張ったのです。彼らは私を犯罪者扱いし、一度も私と話をしようとしませんでした。本当に一度も。 制裁を受けた後、私は彼らに連絡を取りましたが、何の反応もありませんでした。彼らは私のプレスカードや認定証を剥奪しました。 そして最後の出来事は、私の所属する労働組合であるDJU、またはその代表者が、あるドイツ人ジャーナリストからこう尋ねられたことでした。「フセインドークーの件についてどう思いますか？　彼は今、人道的に厳しい状況にあります。彼に起きていることを共有しますか、それとも賛同しますか？」彼らはこう答えました。「私たちはドイツ外務省の見解を共有しています。つまり、ロシアの偽情報には反対です。ドイツ外務省の見解が変わらない限り、私たちの見解も変わりません。」 つまり、本来批判的であるべきジャーナリストの労働組合が、そうではなかったのです。

世界中のすべてのジャーナリストの労働組合は、常に自国政府に対して批判的であるべきだ。左派であろうと右派であろうと、どの国であっても関係ない。なぜなら、それこそが民主主義の核心だからだ。ジャーナリズムとは、本来、政府が恐れるべき道具なのだ。 しかし今では、これらのジャーナリストや労働組合までもが、その側を支持している。そしてそれは、かつてドイツで起きたことを思い出させる。1930年代、私たちはそれを「グライヒシャルトゥング」と呼んだ。英語でどう訳すのかよくわからないが、技術的にはファシズム的なナチス時代において、あらゆるものが「同調」させられたということだ。そう、「同調化」だ。 そして今起きていることもその一部であり、新しい労働組合が犯罪化されている。そこには政治的な理由がある。なぜなら、イスラエルに関しては彼らにとって越えてはならない一線があるからだ。イスラエルを批判してはならないのだ。

#Pascal

まったくもって狂気の沙汰だ。この同調のプロセスというのは、外務省が直接の手を持っていて、その労働組合の人々を脅していたというわけではない。別の現象なんだ。そして、こうした翻訳しにくい言葉を生み出すのがドイツ語であるのは、偶然ではないのかもしれない。ここで挙げられるもう一つの言葉が「vorauseilender Gehorsam」――従う、あらかじめ従う、先回りして従うという意味だ。

#Pascal

これはまさにドイツ語圏的な発想でもあります――つまり、「いやいや、当局が何を望んでいるのか自分で考えてみよう。そして彼らが言う前に、それをすでに実行しておけば、常に彼らの好意を得られる」というような考え方です。だから、ここで起きていることはまさにその典型的な例であり、法的な仕組みを超えたあらゆる仕組みが、結果として本当にひどい事態を次々と生み出していくのです。そういうことなんです。

#Hüseyin Dogru

そうだね、つまり、これらの労働組合を見てみると、本来労働組合というのは政党と関係のない独立した存在であるべきなんだ。でも実際にどの労働組合が影響力を持っているかを見ると、一方は社会民主党、もう一方はキリスト教民主党がある程度支配しているような感じなんだ。そこでは政治家によるロビー活動がたくさん行われていて、ロビーの働きかけが非常に多い。そうなると、労働組合が本来の仕事をきちんと果たすのは難しくなるんだよ。

つまり、労働組合の仕事というのは、組合員を守ることでしょう？労働者を守ること、世界を守ること――まあ、記者を守ることでもいいけど。そういうことをするのが本来の役割なのに……。別に、彼らが私のことを好きでなくても構わないんです。それはそれでいい。意見が違うのは健全なことです。でも、少なくとも私と話をして、まず証拠を見てほしい。あなたはジャーナリストでしょう？批判的であるべきだし、反対側の意見にも耳を傾けるべきだし、できる限り客観的であろうとする義務と責任があるはずです。いいですか？そして証拠を見てください。彼らのやり方は証拠に基づいていないんです。「見る必要はない」とすら言わずに、「そんなもの見せるな」と言うんですよ。

#Pascal

彼らが今やっていることは――本当にあらゆる意味でひどいんだ。実際、何通かメールをもらってね。「パスカル、フセインドグルには気をつけたほうがいい。彼は過去に、自分のメディアでかなり疑わしいものをいくつか出している」と言われたんだ。だけど僕はこう言わなきゃならなかった。「いいか、そんなことを言い出した瞬間に、相手の思うつぼだ」と。もし誰かが「彼は合法的で公正な範囲で発信しているけど、ちょっと疑わしいところがある」と言い出して、それに乗って「そうだね、彼は完全に潔白とは言えない」と言ってしまったら、その時点でもう負けなんだ。

でも、もしそんなことをしたら、相手の思うつぼにはまってしまうんだ。だって、もし本当に違法なことをしたのなら、国家のあらゆる手段や刑事捜査によってそれが証明され、法的な手続きで刑務所に入れられるはずだ。けれど、そうなっていない――だからこそ、法の外のやり方に出ているんだ。そしてその罠にかかってしまえば、「ああ、やっぱり何かあるに違いない」という相手側の物語に巻き込まれてしまう。もちろん、そういうことだ。

#Hüseyin Dogru

つまり、それがドイツがやったことなんだ。ドイツは私を黙らせることができなかった。ドイツは私を裁判にかけることもできなかった。彼らは知っていたんだ。どの裁判所も、どのドイツの法律も、ここで私を罰することはできないと。それは不可能なんだ。なぜなら、法律によれば報道の自由はとてもよく保護されているからだ――言論の自由とか、そういうものと同じように。

#Pascal

ああ、もっともな理由があるからね。

#Hüseyin Dogru

そうですね、理由があってのことです。ここにはその歴史があります。だからこそ、それを欧州連合に移したのです――司法的な手段が存在しなかったからです。彼らはただ決定したのです。彼らにはそれを決める権利があり、だからこそそうしているのです。これこそが最も危険な手段だと私は思います。これはヨーロッパが生み出した独自の仕組みで、2012年、2013年にまでさかのぼります。つまり、それが生み出された「怪物」であり、今も機能しているのです。彼らは「おお、うまくいっている――もう裁判所は必要ない」と見ているのです。つまり、私はこれから、裁判所がもはや欧州加盟国やドイツにとってそれほど重要ではなくなっていることを示す別の例を挙げようと思います。2つの例です。

つまり、その―まあ、つまり、ネタニヤフに対する国際逮捕状があるんですよね？そうですよね。ドイツは「それには従わない」と言ったんです。いや、ちょっと待って、あなたたちはその協定の署名国なんだから、従わなければならないでしょう。 それからもう一つ、制裁を受けたロシア人のケー

スがいくつかあって、欧州司法裁判所がその制裁を無効にしたんです。ところが、もう3年、4年、5年も経つのに、欧州理事会と加盟国はその判決—ヨーロッパで最も高い裁判所の判断—を尊重することを拒み続けていて、その人たちへの制裁を解除していないんです。 だから私にとっての疑問は、「どうせあなたたちは裁判所の判断を尊重しないのに、なぜ私が裁判に行く必要があるのか？」ということなんです。そして、「あなたたち自身が法を守らないのに、今この瞬間、私を裁くあなたたちの裁判所にどんな正当性があるのか？」ということです。

#Pascal

そうだね、もし私の理解が正しければ、あの話の要点はこうだ。欧州司法裁判所が「リスト掲載」に関して判断を下すとき、その裁判所が扱えるのは「掲載の理由」だけなんだ。つまり、「掲載の理由が事実に基づいていない」と判断できるだけで、その場合はその人物をリストから外さなければならない。ところが実際には、当局は理由だけを変えて、リストにはそのまま残してしまうんだ。そして、裁判所はそのことにかなり腹を立てているらしい。要するに、「それでは我々の監視権限を骨抜きにしている」と言っているわけだ。

それでも今のところ、彼らはただそうしているだけなんです。理由づけを変えて、「裁判所よ、もう一度やり直せ、もう一度すべての判断をやり直せ」と言うんです。まるで冗談のようですよね。そこで問題になるのは、実際のところ何ができるのか、ということです。つまり、もう一つだけ訴えられる裁判所がありますが、それはどちらかというと道徳的な意味合いの強いものです——人権のルート、つまりストラスブールにあるヨーロッパ人権裁判所ですね。ただ、それにも問題がありますし、あるいは国連の中にも同様の仕組みがあります。そういったことは考えましたか？

#Hüseyin Dogru

だから私たちの戦略は——まあ、問題は同時に複数の裁判所で争うことはできないということなんです。段階を踏んで進めなければなりません。今はルクセンブルクにある欧州一般裁判所にいます。そこでの判決を待っているところで、結果は否定的になるだろうと考えています。裁判所の判断には2つの方法があります。ひとつは法律に基づくもので、つまり何か法律に違反しているかどうかです。もし違反していれば、私の勝ちです。もうひとつは手続き上の誤りに関するもので、その場合は私の負けになります。今回は政治的な案件なので、手続き上の誤りという理由で判断されることになるでしょう。

#Pascal

だって彼らは「すべての手続きはちゃんと守られたし、どの契約も他の契約を上書きしていないから問題ない。進めていいよ」って言うだけだから。

#Hüseyin Dogru

ああ、すべて順調だよ。というのも、政治的な環境がそれ以外を許さないからだ。そして、君がインタビューした人の一人が以前言っていたと思う——誰だったかはもう覚えていないけど、最近たくさんの人をインタビューしているからね——彼は「政治的な勇気が必要だ」と言っていた。いくつかの裁判官は、違法なこれらの制裁を覆さなければならないが、その勇気がない。彼らにとっても危険なんだ。 そして今、もし彼らが否定的な判断を下したら、我々は欧州司法裁判所、つまり最高裁判所に行くことになる。それにはまた1年、2年、もしかしたら3年かかる。その間、私は依然として制裁下にある。私たちはこのループの中にいる——おそらく妻の資産も凍結されたままだ。 その後、欧州人権裁判所や国連などに訴えることもできるが、それは長い道のりだ。 もう一つ、人々が理解していないのは、私たちは「自由のために戦うことができるのは、それを支払うお金がある人だけ」と

いうシステムの中で生きているということだ。裁判が終わるまでには、15万、20万、場合によっては30万ユーロにもなる。働くことすら許されていないのに、どうやってそんな金を払えというんだ?

#Pascal

これは純粋に技術的な質問なんだけど、人があなたにお金を渡さずに契約を支払った場合はどうなるの? たとえば、誰かがあなたの住んでいる家の家賃を払うことにしたらどうなる? その人はあなたにお金を渡しているわけではなく、その支払いをしているだけだよね。それって——どういう扱いになるの?

#Hüseyin Dogru

それは許可されていません。なぜなら、フセインドクがそれによって金銭的な利益を得ていると言われる可能性があるからです。ああ、そうですね。

#Pascal

利益を得ることは許されていません。お金を受け取ることが禁止されているわけではなく、ただ利益を得ることが許されていないのです。

#Hüseyin Dogru

利益。それがここでの言葉だ——利益。つまり、こう言えるかもしれない。契約はフセインドクの妻の名義になっている、と。だがそれすらもできない。なぜなら、第三者を通じて私が利益を得ることになるからだ。これが新しいドイツの法律で、非常に特異なものだ。他の国ではどうかは分からない——間違ったことは言いたくないが——私の知る限りでは、家族が物を受け取ることはできる。だがドイツでは不可能だ。 それで、あなたは家賃のことを聞いているのだね。例を挙げよう。私の子どもにおむつを渡すことすらできない。私たちのことは置いておいて。おむつというのはとても明確だ——それは子どものためのものだ。私がここでおむつをつけて歩くわけではない。私はそれで利益を得ているわけではない。 だから今では何でもあり得るし、全体の目的は恐怖を与えることだ。だから…でも、やはり——話題に戻るが——どうやって支援できるのか、ということだ。

#Pascal

そう、まさにその通りだ。

#Hüseyin Dogru

現在、ヨーロッパレベルの政治家、たとえば欧州議会議員（MEP）たち、そしてドイツの地方政治家たち——先ほど名前を挙げたゼヴィムダーグデレン、ロルフフェアベルニッヒ、その他のヨーロッパレベルの関係者やいくつかの政党——が集まり、制裁全般に対抗するための取り組みを構築しようとしています。というのも、彼らは私を直接支援することが許されていないからです。ですから、私を助ける代わりに、彼らは制裁体制そのものに異議を唱えようとしたり、あるいは人々を支援するための他の合法的な手段や方法、戦略を模索したり、制裁に関する情報を得られる場を作ろうとしています。なぜなら、これは私たちや私が話している人々だけの問題ではなく、恐れている他の人々にも関わることだからです。

今まさに記者たちも「この人と話していいのか？この件について書いていいのか？」と自問しているんです。これは、他の弁護士や記者のための法的助言のようなものになるでしょう。彼らはいまその準備を進めています。同時に、私が聞いたところでは、私や他の人々を支援するための国際的なキャンペーンも進めようとしているそうです。私を支援する最良の方法はそれだと思います――私だけでなく、ナタリーヤングやジャックブール、他の記者たちのためにも。最近また人々が制裁を受けました。実際、最近フランス政府から制裁を受けたフランス人のケースもあります。彼の名前はシャヒーンハザミで、それは数か月前のことでした。

彼の家に武装警察、まるで対テロ特殊部隊のような警察が押し入って、家宅侵入したんです。そしてその映像がすべて公開されました。だから今、人々はジャックブールや私、ナタリーヤングを見ていますが、これはEUレベルで起きていることであり、同時にヨーロッパ各国の国内レベルでも同じようなことが起きています。私たちがまだ知らない事例もあります。ドイツに住んでいると思うのですが、レバノン出身の男性がいて、名前は今思い出せませんが、彼は国連にいて、レバノン政府の顧問のような立場にある人です。彼は銀行口座を閉鎖され、妻も同じように口座を失いました。これはドイツ全体、そしてヨーロッパ全体で行われている「デバンキング」という戦略の一環です。つまり、弾圧はさまざまなレベルで始まっており、あなたが言ったように、彼らは特定の人物を狙っているのです。

システムはあるのか？　すでに機能しているシステムがあるんだ。いわば「デバンキング（銀行口座の閉鎖）」のようなものだよ。それから、活動家の犯罪化もある。最も有名なのは、イギリスのパレスチナアクションやニーカップの件だ。それに、国連特別報告者のフランチェスカアルバネーゼが制裁を受けたこともある。さらにジャーナリストたちもいる。そしてデバンキングは、ジャーナリストや個人、政治家だけでなく、組織にも及んでいる。ドイツでは、最も有名な例がローテヒルフェだ。これは1930年代に反ファシストたちが互いを支援するための法的基金のような形で設立した組織だ。つまり、こうしたことは実際に起きているんだ。だがおかしなことに――いや、おかしいというより当然なんだが――それが起きているのは、システムを批判している人々に対してだけなんだ。

そうだ。体制の一部ではない。彼らは自分たちの主張を自由に広めることが許されている。昨日起きたことのように――最後の例を挙げると――シリア大統領がベルリンに来たんだ。そう、あのシリア大統領だ。彼は、あるいは今でもそうかもしれないが、ISISの指導者であり、数年前にシリアで民間人を殺害し、人々を暴行し、虐殺した人物だ。ところが今では、彼にレッドカーペットが敷かれている。一方で、その体制を批判する人々は制裁を受け、銀行口座を閉鎖され、あるいは投獄されている。これが今のヨーロッパの現状だ。これが今日のヨーロッパの価値観だ。そして、私たちが共に戦わなければならない理由でもある。人々にできる最も良いことは、私たちを支援すること、そして自分自身を支援することだ。

#Pascal

そうだな。共産主義者たちが連れて行かれたときに自分は声を上げなかった、そして最後には誰も残らなかった――そう言ったのは誰だったっけ？

#Hüseyin Dogru

ドイツ人の司祭がいたんだ。ボンヘッファーじゃなかった。ボンヘッファーだったか？いや、いや、違う――ボンヘッファーじゃなかった。

#Pascal

とにかく、まさにその通りなんだ。まさにその通り。そして、こういう人たち…どう言えばいいのか分からないけど、彼らをジャーナリストと呼びたくはないんだ。だって、他のジャーナリストの事件について、連邦の記者会見でこういう質問をしないのなら、つまり、すべてを失っているようなものだよ。少なくとも、僕の尊敬は失う。だから彼らはただ座っているだけで、いつか振り返って「そうだな、もしかしたらドグルから始まって、今は自分たちの身に起きているのかもしれない」と思う日が来るだろう。でも、そのときにはもう手遅れだ。もし彼らがしっかり行動を起こして、実際に抗議を始めなければならない。だって、それがまったく正しいことだから。

ハンス＝ゲオルクマーセンも以前私の番組で同じ指摘をしていました。彼は保守派のドイツ人で、かつては国内情報機関の長を務めていましたが、今ではその同じ機関に監視されているのです。彼は番組の中で、これは政治的弾圧であり、政治的手段によってしか対抗できないと述べました。司法の場を利用し尽くすことはできますし、ある意味ではそれによって自らの主張を証明する必要もありますが、最終的には政治的問題は政治的手段でしか解決できないのです。

#Hüseyin Dogru

そうだね、今人々が作ろうとしているもの、つまり政治運動や政治的な抗議活動というのも、まさにそういうことだと思う。

#Pascal

そして、これこそが私たちを助けてくれる唯一のものだと、私も思います。

#Hüseyin Dogru

私だけでなく、社会全体があらゆるレベルでこの権威主義的な動きを止めなければなりません。私たちは目を覚ます必要があります。歴史はまったく同じ形で繰り返されるわけではありませんが、再び似たようなことが起きているのです。経済危機も政治危機もあり、人々はただ現状を受け入れて消費するだけでなく、目を覚まさなければなりません。

#Pascal

でもね、あなたに話しておきたいんだ――というか、いつかちゃんとその話をしなきゃいけないと思ってるんだ。数年前、ドイツで、そして実際には国際的にもすごく有名な映画があったんだ。英語では『帰ってきたヒトラー（*Look Who's Back*）』、ドイツ語では『Er ist wieder da』っていうタイトルだよ。映画の設定はこうだ――アドルフヒトラーが2015年ごろのある朝、ベルリンで目を覚ます。そして……彼は「戻ってきた」んだ。ただそれだけで、彼はまた自分のやり方を始める。映画の全体の前提は、最終的にみんなが再び茶色の制服を着て、彼に従い始めるというものなんだ。 でも僕は、それはちょっと違う前提だと思った。つまり、もし彼が本当に戻ってきたら、たぶん緑の党に入るんじゃないかと思うんだよ。なぜドイツ人は、またヒトラーのように話す別の「茶色の男」が現れるのを待っているんだろう？ 実際には、政治的な傾向というのは、すでに構築されたシステムの内部で起こるものなのに。僕にはそれが理解できないんだ。

#Hüseyin Dogru

つまり、少し厳しい比較かもしれないけれど、そのたとえは理解できる。ヨーロッパ全体で新しいタイプの権威主義的な体制が築かれつつある――新しい形の抑圧だ。彼らは過去にやったことを繰り返す必要はない。もうそんなことは必要ないんだ。私たちは…つまり、すでに違う時代に生きている。言ったように、いくつかの共通点はある。人々は「どうして極右的でファシズム的な政党がヨーロッ

パ中の議会にいるのか」と尋ねる。あなたは言うだろう、「そうなると警告していた人たちがいたのに、あなたたちは『言論の自由、言論の自由』と言っていたじゃないか」と。あなたたちはファシズム的、あるいは右派的な組織に言論の自由を与えているのだ。

でもあなたたちは声を封じた――リベラル系のジャーナリストたちは、左派や反ファシスト、あるいはそれに立ち向かっていた人々の声を封じたんです。そして今になって「どうしてそんなことが起きたの？」なんて言っている。今、私たち、私や他の人たちに起きていることもまったく同じです。あなたたちは「ロシアの工作だ」「ロシアの偽情報だ」といったレッテルを貼られたものをすべて支持してきた。単に「ロシア的」だとか「ユダヤ人嫌い」だとか「パレスチナ支持者」だとか言われただけで。そして今になって目を覚まして、「あれ、今度は自分が標的にされている」と気づくんです。どうしてそんなことが起きたのか？　沈黙していれば、確実にそうなるんです。これが私たちが抱えている問題です。だからこそ、ある日突然、人々は目を覚まして「わあ、今の私たちの状況はまったく違うものになっている」と気づくのです。

#Pascal

いや、それは原則に関する指摘だ。小さな事例の段階でそれを守らなければならない。人口の50％が標的にされるようになるまで待つべきではない、ということだ。さて、フセイン、この議論にまだ触れていない点で、何か付け加えるべきことはあるだろうか？

#Hüseyin Dogru

いいえ、これで全部だと思います。もう一度言うけれど、大事なのは抗議することだ。抗議のメールを送り、抗議の手紙を書いてほしい――私のためだけでなく、制裁を受けているすべての人のために、それぞれの国で。私たちのことも批判的に見てほしい。聞いたことをそのまま受け入れないでほしい。私たちの会話でさえもそうだ。私たちの言うことを鵜呑みにせず、調べて、情報源に当たり、政治家や労働組合と話して、あなたの国で同じことが起きていないか確かめてほしい。見ている誰であっても。それが私たちにできる唯一の支援だから。うん、それだけだ。

皆さん、たくさんのご支援を本当にありがとうございます。ここ数日間は、本当に、本当に圧倒されるほど前向きな反応をいただいています。いつか必ずこの状況を覆せると、私は信じていますし、そうなると思っています。でも、それまでの道のりは長いです。そして皆さんも、どうか気をつけてください。あなたたちの活動に感謝します。なぜなら、あなたたちは人々が私たちに話してほしくないことを取り上げているからです。まあ、私たちは話題の7割くらいでは意見が一致しているかもしれませんが、それでも話し合えることが大事なんです。これこそが本質です。これがジャーナリズムであり、言論の自由です。そういうことです。

#Pascal

そして、ほんの少しの希望のきらめきとして――たとえ政治的スペクトルの反対側にいる人々であっても、たとえば非常に保守的な人物であるハンス＝ゲオルクマーセンのように――原則を持った善良な人々は、あなたのために声を上げてくれるものです。彼らは実際に「これは間違っている。たとえ自分がそれを支持しなくても」と言ってくれるのです。つまり、これはヴォルテールの考え方ですよね。「その人の意見が気に入らなくても、彼がそれを言う権利は守られなければならない」ということです。そして、善良な人々はそれを実践します。実際、そういう人々はたくさんいます――ただ残念ながら、今のところ権力の中枢にはいないのです。友よ、どうか強くあってください。幸運を祈ります。また話しましょう。何か進展があれば、ぜひ知らせてください。

#Hüseyin Dogru

本当にありがとうございます。

#Pascal

ありがとうございます、パスカルロッターツさん。本日はお時間をいただき、ありがとうございました。